

内浦公民館だより

令和 6 年 11 月 8 日発行

Artfull うちうら

(2024) <vol.134>

【発行】

内浦公民館

〒919-2351

高浜町山中 104-4-2

TEL.0770-76-2007

FAX.0770-76-2008

E-mail

uchiura_c.c@town.takahama.lg.jp



Artfull うちうら公民館まつり 11月16日(土)開催!お待ちしております!!

内浦公民館講座



交通安全教室(2回目)



令和 6 年 10 月 1 日(火)

内浦公民館 2 階多目的ホールで【交通安全教室】を開催しました。講師は高浜町交通安全推進員の山本智子さんと清水妙子さんです。実際に起きた交通事故を教訓に、シートベルトの正しい着用方法や自転車に乗る時のヘルメットの必要性を教わりました。



令和 6 年 10 月 12 日(土)

内浦公民館 1 階ホールで【竹灯り作り教室】を開催しました。講師は海本誠一さん。今回も内浦地区の竹を使いました。迫力のある大きさの竹に好みの型紙を貼りつけ、ドリルドライバーで穴を開けていきました。休憩するのを忘れるほど、楽しみながら集中されていましたよ(^^♪完成した竹灯りはとても綺麗でした💎

● 開館時間 午前8時30分～午後10時

● 利用時間 午前9時～午後9時30分 夜間利用が無い場合は午後5時で閉館いたします。

<12月の休館日> 2日(月)・9日(月)・15日(日)・16日(月)・23日(月)

<年末年始の休館日> 12月28日(土)～1月4日(土)



高浜町郷土資料館と内浦公民館共催 <難波江城を中心に>
よみがえる内浦の戦国要塞 **内浦の戦国**

展示



- 内浦公民館 1 階でパネル展示
<10 月 1 日(火)~10 月 30 日(水)>
高浜町内、町外の方も展示を見に来られました。地元の方でも難波江城の事を知らない方が多く、地域の歴史を知るきっかけになりました。

歴史講座



- 難波江城と内浦の歴史
<10 月 5 日(土)>
郷土資料館学芸員の倉田尚明さんによる歴史講座を開催しました。南北朝時代の内浦を知る事が出来ました。

現地見学会

10 月 6 日(日)を予定していましたが、悪天候が続き歩いて行く道の状態に不安があった為、中止となりました。

- 現地見学会につきましては、11 月 23 日(土・祝)午前中の予定で関係者調整中です。



旧神野小学校の玄関。
ガラス越しに何が見えたかな？



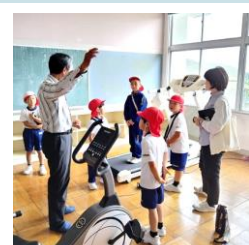
神野浦の舟小屋で大きなカゴ
を見つけたよ(^^♪

令和 6 年 10 月 8 日(火)

内浦小学校 1.2 年生が生活科学習で、ぐるりんバスに乗り、旧神野小学校、神野浦区の海岸と日引ふれあい広場を探検された時の様子です。それぞれの場所で興味深く観察されていました。

内浦小学校 1.2 年生
まち探検

日引ふれあい広場を見学





館長の《こーひーぶれいく》No.115



今回は、杉井 光 著「世界でいちばん透きとおった物語」です。

電子図書化絶対不可能!? ・紙の本でしか・体験できない感動がある!
の帯につられて読んでしまいました。どんなトリックが隠されているのでしょうか。

大御所のミステリ作家の宮内彰吾が亡くなった。彼は妻帯者であったが、多くの女性と交際し、そのうちの1人とは子どもまでできていた。その子供が僕(燈真)だ。父から認知を受けておらず、本の校正者である母と二人で生きてきた。父と会ったこともなく顔も知らない。

母は「迷惑をかけないから」と言って僕を産み、金銭を伴わない純粋な恋愛関係であったことにしたかったのか、彼からの援助も一切断り、繋がりを絶っていた。父は愛人を何人も作っては棄て、作家としても横暴であり、想像される人物像は最低の人間であった。

僕は10歳の頃、かなり重い病気にかかり難しい脳外科手術をうけた。光線力学的療法、レーザー光線による療法で、手術はうまくいったが、しばらく目が完全に見えなくなってしまった。視神経に影響したのだろうか。二週間ほど経ってようやく目が見えるようになってきた。しかし後遺症なのか本を読んでいると目がチカチカして読めないのだ。日常生活には支障ないが、本を読むことができないのだ。裏写りする文字が気になって疲れて読めないのだ。必死に眼鏡やマッサージなど試したが良くならなかった。不思議なことに、PCやスマホの画面の字は苦にならず、電子図書は問題なく読めた。18歳の冬、母は突然交通事故で亡くなり、一人ぼっちになった。

父の死後、その長男から連絡があり、父が遺作を残していたらしいことがわかる。母の知り合いの編集者の女性の霧子の助言をもとに、遺作探しを始めることになる。父が付き合っていた女性、ひとり一人に会って遺作のありかを探すことになるが、彼女らの話のなかには、僕が想像していた父とは違う姿があった。彼女らからの恨みつらみはなく、お金も一切渡していない関係だった。父の遺作で分かったのは、タイトルが「世界でいちばん透きとおった物語」で600枚もの大作であったということ。やっと原稿があるマンションを突き止めるが、それは燃やされた後だった。

この作品のトリックは原稿のありかやフーダニット(誰がそれをやったか)ではありません。ネタバレになってしまいますが、紙の本でしか出来ない装丁や印刷、編集の方法にあるのです。文庫本を読んでいる読者が注意してみればわかるのです。それは一文の文章おわりがページのめくりをまたぐことが無く、すべてのページは裏のページと文字数が同じ配列になっていること。つまり、印刷字が紙を透けて見えない、裏写りしていない配置となっているのです。目に障害の残った息子が読みやすいように工夫を凝らした形でした。燃え残った最後のページ原稿が見つかりますが、そこには真ん中にただ「 」と5文字入る状態でかかれていました。透けて見える文字は何と書かれていたのでしょうか。



父の遺品の預金通帳からは1,000万をはじめ、毎月お金を振り込んだ記録があり、息子への手術代や生活費であったことがわかるのです。そして、父が残したレイアウトのルールを守りつつ、燈真は同じタイトルの小説を書くことを決心するのです。

草木染め教室～紅花で染めてみよう～

令和6年10月19日(土)

内浦公民館 2 階 調理実習室で【草木染め教室】を開催しました。講師は永登裕芳理さん。初めに紅花染めの工程の説明があり、3色に染める事が出来ると教わりました。黄色に染める方、赤色に染める方、オレンジ色に染める方、それぞれ好みの色でストールを仕上げました。1つの花びらで鮮やかな3色に染まり、草木染めの楽しさを実感されていました。

素敵な色に
染まりました(*^^*)



内浦地区敬老会



令和6年10月27日(日)

内浦公民館2階多目的ホールで【第34回内浦地区敬老会】が開催されました。入り口付近に置かれたボードと壁には、内浦地区の昔の写真が展示されていました。アトラクションでは、内浦保育所と内浦小中学校の皆さんからの映像メッセージと大森和良さんの歌とお話して楽しめました。

これからの内浦公民館講座のお知らせ

アウトドア教室 (はじめてのキャンプ編)

日時：R6.11.10(日)

9時00分～13時00分

場所：ヒロセオートキャンプ場

「身近な生活環境講座」 ～鳥獣害対策(現状と課題)～

日時：R6.11.23(土・祝)

13時30分～15時30分

場所：内浦公民館 会議室

からだを整える季節の雑穀料理 ～ひえを使った料理～

日時：R6.12.1(日)

13時30分～15時00分

場所：内浦公民館 調理実習室

■ 元気あっぷ生き活き倶楽部

【次の開催日】11月19日(火)13:30～15:00 【会場】内浦公民館 2 階 多目的ホール

■ らくらく運動教室

【次の開催日】11月26日(火)13:30～14:30 【会場】日引ふれあい広場